

夏の自然観察会の様子

7月3日の日曜日、深浦町千畳敷で、夏の自然観察会を行いました。快晴で気温が高かったものの、海風のおかげで涼しさもありました。



左下の写真は岩石が風化浸食により網目模様のようなになった構造、右の写真は黒っぽいダンゴ状の塊が密集したようなになった構造、それぞれどのようにしてできたのか参加者と考えました。



岩場で海岸植物を観察しました。岩の隙間にできた砂地でたくましく生きていました。



ハマボッサ（サクラソウ科）の花（左下）と去年の実（右下）



秋の自然観察会の様子

10月2日、三沢市民の森で、秋の自然観察会を行いました。最初、雨がパラつきましたが、開始時には晴れとなりました。主に小田内沼周辺の散策沿いに動植物の観察を行いました。



小田内沼は、小川原湖へ向かう谷の途中をせき止めてできた溜池です。



色鮮やかなマムシグサの実。水路付近に生えていました。有害成分があるため食べないようにしましょう。



ヤマボウシの実。参加者と食べてみて、とろみと甘さ確かめました。

